

平成26年3月20日

岩出市教育委員会 様

岩出市教育委員会評価委員会
委員長 藤 井 均

平成25年度教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るということで、私たち評価委員は教育委員会の委嘱を受け、平成26年2月27日及び3月14日の2回にわたり評価委員会を開催しました。評価対象事業は、第2次岩出市長期総合計画の「活力あふれるまち ふれあいのまち」に位置づけられ、教育委員会が作成した38事業の内容及び評価について事務局へ質疑応答を行い、その結果を踏まえ意見を取りまとめました。

自己評価は、一部を除きほぼ達成しているとされており、総合評価として課題や今後の対応並びに市教育委員会の方向性等が示されています。

教育総務課では、「小・中学校施設改修事業」や「ブロック塀等耐震化補助事業」等の実施により、まずは、最も重要である児童・生徒の安全確保を図り、その上で、「確かな学力の育成のための実践研究事業」、「いわでアスリートクラブ事業」「紀の国緑育推進事業」等を実施することにより、知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒の育成を図ろうと努めていることがわかります。また、「放課後児童健全育成事業」や「私立幼稚園就園奨励費補助事業」等の実施により、子育て世代への支援を手厚く実施しています。

今後は、児童・生徒の学力向上を重要課題としつつも、知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒の育成に、さらに努めていただきたいと思います。

生涯学習課では、「放課後子ども教室推進事業」や「公民館事業」等、子どもからお年寄りまで幅広い層を対象とした諸事業を実施され、生涯学習の推進と振興に努められています。また、「市民運動会」や「岩出マラソン大会」の開催、スポーツ少年団に対する助成などを通じ、生涯スポーツの推進にも努めています。

今後も、市民の皆様のニーズを的確に把握し、そのニーズに合った事業を展開されるよう期待します。

岩出図書館では、「図書購入事業」により、計画的に蔵書数の充実に努めるとともに、「家族ふれあい読書推進事業」により、学校との連携を図りながら子どもの読書量を増やす取組を実施しています。

子どもの読書活動を推進するためには、学校との連携が重要です。今後もより一層学校との連携強化を図っていただきたいと思います。

民俗資料館では、根来寺をはじめ地域の歴史や文化を伝えるための取組として「民俗資料館展観事業」等を実施し、市民や次代を担う子ども達に郷土の歴史の情報や学習の場を提供しています。

今後は、多くの観光客誘致も視野に入れた民俗資料館の運営を期待します。

前述のとおり、岩出市教育委員会では、2課2館が連携しながら、子どもの健やかな成長、生涯学習社会の実現を目指して諸施策を実施されていますが、今後、事務事業の自己点検・自己評価の過程を通して、職員の意識改革や政策形成能力の向上を図るとともに、この評価の結果を、来年度以降の教育行政の一層の充実・発展のために反映していただきたく、本意見書を提出します。

なお、個別の事務事業についての主な意見は、以下のとおりです。

教育委員会委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分	主 な 意 見	
学校教育 の 充実	いわでアスリートクラブ事業	年々登録者が増加し、競技力についても成果があがっているので、今後も是非継続してもらいたい。指導者については、ボランティアの指導者を公募するなど、教員以外の指導者も確保できるような工夫をお願いしたい。
	適応指導教室事業	昨年度に比べて大きく利用者が伸びたことは顕著な成果といえる。不登校の原因は、友達つきあいの複雑化や家庭環境など様々であると思われるので、今後も学校や関係機関と連携しながら児童生徒一人一人の状況に応じた対応の充実をお願いしたい。
	小・中学校施設改善事業	小・中学校施設改善事業については、非構造物材の耐震を完了したことで、小中学校の耐震化が全て完了したことは、大きな成果である。引き続き計画的に改修工事や補修工事を行い、児童・生徒の学習環境の充実を図ってもらいたい。なお、通学路の危険箇所については、今まで以上に教育委員会、学校、道路管理者、警察等と連携を強化し、改善に努めてほしい。
	ブロック塀等耐震化補助事業	児童・生徒の安全確保という観点から引き続き実施する必要があるが、利用件数がなかったことは残念である。住民への本事業の周知方法等について、再検討してもらいたい。
	確かな学力育成のための実践研究事業	本事業を通じた教育委員会から学校へのサポートが重要である。今後も研究を充実させてもらいたい。
	学校給食運営事業	円滑な給食運営を推進するためには、給食費の完全徴収が重要である。引き続き収納率の向上に努力してもらいたい。安全で新鮮な地元食材を活用することも重要であるため、引き続き地産地消の推進にも努めてもらいたい。
子育て環境の充実	放課後児童健全育成事業	岩出市は、核家族化が進んできており、夫婦共働きの家庭も多い。このような保護者にとっては非常に重要な事業であるため、引き続き本事業の充実に努めてもらいたい。
国際交流の推進	外国青年招致事業	英語教育や国際理解教育の充実に大きく寄与しているため、今後も継続してもらいたい。人選は市でできないとのことであるが、学校教育にふさわしい人物が招致されることを望む。
青少年の健全育成	青少年育成市民会議助成事業	大変充実した活動をしており評価できるが、岩出市においても少子高齢化が進んでおり、地区育成会の立ち上げについて取組の強化を図ってもらいたい。
生涯学習の推進	放課後子ども教室推進事業	各小学校で多くの教室が開催されており、地域の連帯意識が薄まるなか、地域住民との交流も図られており、今後も子ども達が興味のもてる教室の開催を図られたい。
	公民館事業	文化教室や成人講座など様々な事業を行っているが、今後もさらに創意工夫し市民ニーズに対応した事業の展開を図られたい。
	スポーツ教室事業	スポーツを通じての健康づくりに貢献しており、より多くの方に参加していただける取り組みをされたい。

文化・芸術の振興	文化祭事業	新しくそうへいちゃんコーナーを設けるなど、出品数を増やす取組が行われているが、今後も色々な発想で出品数を増やす工夫をされたい。
	民俗資料館展観事業	市民の展示ニーズに対応したテーマの実施や内容の更なる充実を図ってもらいたい。また、資料館をより多くの方に利用いただくためにも秋季企画展だけでなく新たな展示事業に取り組んでももらいたい。
		民具をはじめとした郷土資料や美術品ともなる「根来塗」など積極的に収集・保管し、特色ある資料館づくりに取り組んでももらいたい。
民俗資料館体験学習事業	屋外の体験学習だけでなく、資料館の常設展示なども活用した歴史学習会を行うなど、市民や子どもたちに郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供してもらいたい。	
人権尊重の推進	人権啓発活動地方委託事業	講演会を開催し、アンケート調査で人権問題への関心・理解で「深まった」の回答が高かったことは評価できるが、市民に人権問題に対する正しい意識を広めるために、一人でも多くの方に参加していただけるよう広報について検討されたい。
子ども読書活動推進事業	第2次岩出市子ども読書活動推進計画策定事業	子どもを取り巻く環境の変化、生活環境の多様化が子どもの生活に強く反映し、読書離れが進んでいると言われる中で、子どもたちが好きな本と出合えるよう、各種施策を引き続き実施してもらいたい。
	家族ふれあい読書推進事業	学齢期の子どもにとって最も身近である学校図書室の効果的な活用ができるよう、岩出図書館と学校図書室の連携を更に進めてもらいたい。
図書館管理用促進事業	図書館運営事業	図書館の各種サービスがまだまだ周知できていないように思われるので、図書館イベントや図書館サービスについてPRし、情報提供することで図書館利用の促進を図る必要がある。
	図書購入事業	全ての利用者に図書館を身近に感じてもらえるよう、興味、関心を持つ図書資料の充実を図ってもらいたい。